



蝦夷の わりんご



令和7年度 保護者・児童アンケート の 集計結果について

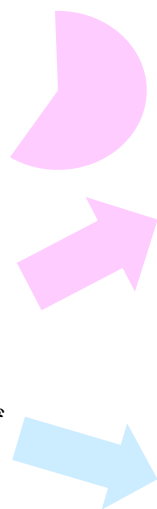
12月に実施した令和7年度保護者・児童アンケートの結果についてお知らせいたします。お忙しい中にもかかわらずたくさんの御協力をいただきありがとうございました。いただいた御意見は、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも本校の教育活動に御理解、御協力をお願いいたします。



【アンケート結果より】

児童アンケートから

- ・多くの項目において『A:そう思う』と回答をした児童が、全校の半数を超えています。中でも、
 - ・設問1「前に学んだことや友達の考え・意見とつなげて考えることができたか」
 - 設問4「正しいことを一人でも頑張り、なりたい自分をめあてに努力したか」
 - 設問5「違いを受け入れ、思いやりのある行動ができたか」
 - 設問7「学習に進んで取り組み、考えを発表したか」において、それぞれ昨年より10%前後増えました。
- 本校で大切にしている「つなげて考える」こと、「あこがれと思ひやり」を意識して生活していることの表れといえます。これからも、本校の教育の重点を分かりやすく伝え、よい姿には即時評価をするなどして児童の成長を促せるよう、工夫してまいります。
- ・設問4「正しいことを一人でも頑張り、なりたい自分をめあてに努力したか」においては
- 肯定的な回答をした児童が、昨年より微減となりました。一人一人が高い目標をもち、もっとできるはずと感じている表れでもあります。道徳的価値を身に付け、努力を継続するよさを感じ行動に移すことができるような学級づくりや授業づくりを工夫してまいります。



保護者アンケートから

- ・多くの項目において昨年度より肯定的な回答が増えている中、
- 設問7「家庭学習を含め、学習に進んで取り組み、考えを発表したか」においては、『D:そう思わない』という回答は減ったものの、『C:あまり思わない』が微増となっています。『自主的な学習態度』において、もう少し頑張れるはずと期待を込めている結果となりました。ぐんぐんカードに加え家庭学習の具体的な方法を提示するなどして、学校とご家庭とで連携をとりながら、お子さんの力を引き出せるよう、職員一同努力してまいります。



児童アンケート・保護者アンケートの比較から

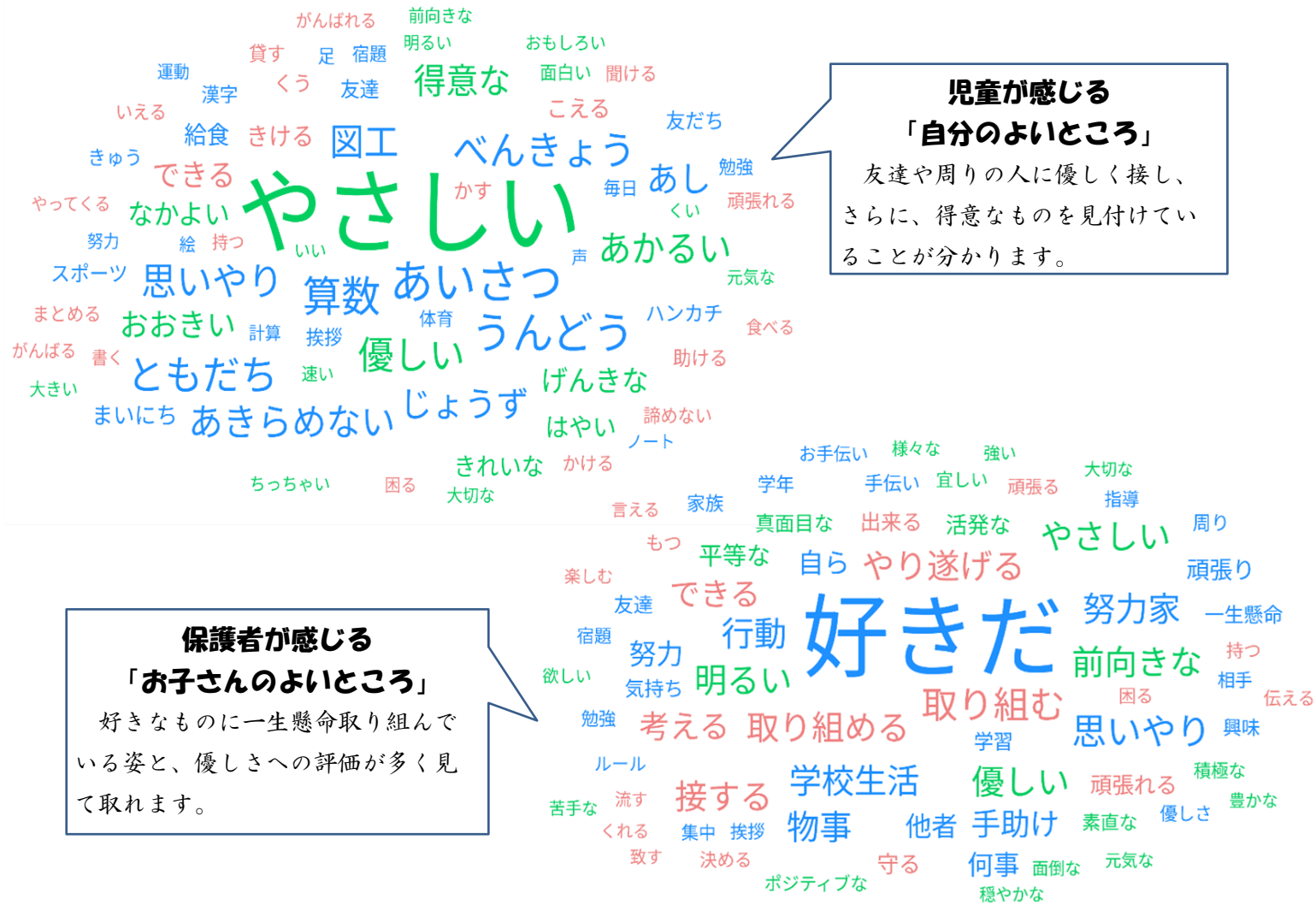
- ・全体的に、お子さんは、保護者に比べて『A:そう思う』の割合が高く、『B:まあまあ思う』の割合は保護者の方が多いという結果となりました。保護者の皆様が思っている以上に「自分は十分やっている」と感じているようです。また、設問2、4、6、7（各項目・各学年の分布等詳細は、学校ホームページでご確認ください）では、『C:あまり思わない』と評価している保護者の方が児童より多く、もっと「前向きに挑戦する」「目標に向かって努力する」「進んで挨拶し、安全に生活する」「学習に進んで取り組む」ことができるはずと、子どもたちの更なる可能性に期待していることが分かりました。



がんばってる！



まだできるよ！



皆さんの記述を拝見し、教職員が感じているお子さんのよさを思い浮かべ、「同じだ」と共感したり、「そういう面もあるね。」と再認識したりすることができました。これからもたくさんのよさを見付け評価していけるよう、そしてお子さんの自己肯定感や有用感が高まるよう、かかわってまいります。



保護者の皆様の声から

学校生活全般について

- ・からかい合いや多少の叩き合い等考えられるので、よくあることだと思うが、エスカレートしないように配慮してほしい。
- ・思春期は家庭より仲間との時間や約束が優先になる時期でもあり、家庭では見られない、知られない現状が学校や放課後で起こっていると思う。ぜひ知らせてもらって、家庭でも考えたい。
- ・相手は遊びだと思っているようだが、傷つける言葉を投げつけたり、プライベートゾーンを触る、殴る蹴るの暴力が無くなるようお願いしたい。

⇒ご心配をおかけしています。一人一人が安心して登校し、学校生活を楽しみ、集団で学ぶよさを感じられるよう、更に細やかな見取りと道徳教育を続けてまいります。また、保護者の皆様と連絡を密にしながら子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。

ご家庭でも是非、会話をする時間や生活の課題について一緒に考える時間を作っていただくなどして、学校と家庭とで一貫したかかわりができるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

感想等

- ・いつもこまやかにサポートしてくださり、ありがたい。
- ・友達と楽しく学校生活を送っている。先生方のお力添えのおかげだと思う。
- ・様々な家庭が、子どもたちがいる中で学校としてできることを懸命に向き合ってくれている。親同士ももっとつながりを持ち、高め合いたい。

⇒温かい声も多数いただき、教職員のエネルギーとなっています。ありがとうございます。

すべての御回答は教職員で閲覧し、今後の教育活動の参考にさせていただきます。本当に、御協力をありがとうございました。

